

別紙2 大企業等との連携事業(ビジネスアクセラレーターかながわ(BAK))採択プロジェクトの概要
※下線はベンチャー企業

プロジェクト名・提案者

相模原市橋本発!未来の宇宙産業を担う宇宙人材教育プログラムの開発
(株式会社 amulapo、京王電鉄株式会社)

プロジェクト概要



宇宙教育コンテンツの開発・提供を手掛ける株式会社 amulapo と、相模原市の橋本駅周辺を中心としたまちづくりに取り組む京王電鉄株式会社が連携し、子どもたちが宇宙について継続的に学べる教育プログラムの開発・実証を行う。学校や学習塾などの教育機関等への提供を想定し、教育現場のニーズを踏まえながら、プログラムの内容や提供方法、事業化に向けた検証を進める。この取り組みにより、宇宙や科学への興味・関心を育む学びの機会づくりを通じて、将来の宇宙産業を支える人材の裾野拡大と、宇宙をテーマとした橋本エリアのブランド力向上を目指す。

プロジェクト名・提案者

転倒リスクの評価による建設業における転倒予防の安全労働モデルの構築
(UNTRACKED 株式会社、戸田建設株式会社)

プロジェクト概要

1分で計測

見やすいレポート

最適な体操

建設現場で導入・普及

StA²BLE

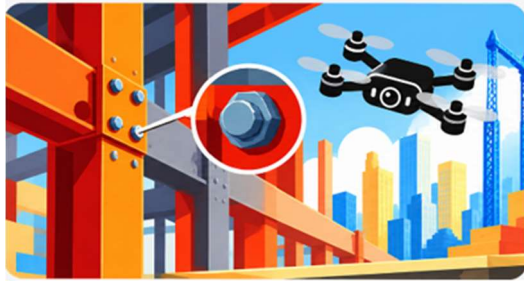
転倒リスクの評価技術と、リスク要因に応じた最適な体操の自動提案を組み合わせ、主に製造業での導入が進んできた転倒予防ソリューション「StA²BLE」を提供する UNTRACKED 株式会社と戸田建設株式会社が連携し、建設現場における作業員等の転倒を防止する実証を行う。この取組により、製造業と異なり、様々な会社に関わり、日々多くの作業員が入れ替わる中で、転倒・転落等による労災が多く発生する建設現場に適した転倒予防モデルの構築に取り組むとともに、戸田建設のネットワークを活用し、構築したモデルの建設業全体への展開を目指す。

プロジェクト名・提案者

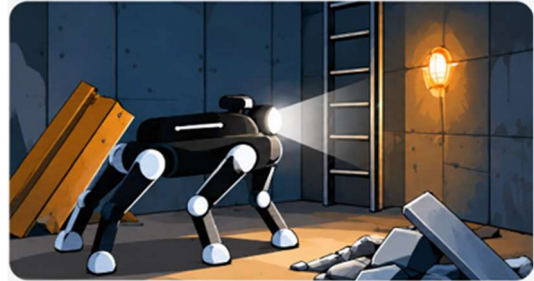
ドローンや AI を活用した、現場の安全と都市の安全の両立への挑戦

(Xsym 株式会社、株式会社フジタ)

プロジェクト概要



ボルトの締め付け確認



地下ピット材確認

暗黙知を高速で学習する画像 AI 技術を持つ Xsym 株式会社と、大型の建設工事等行う株式会社フジタが連携し、高所での鉄骨ボルトの締め付け確認や地下ピット等の暗所における残材確認といった危険を伴う場所での確認作業を画像 AI が代替する実証を行う。この取組により、現在、危険な場所で人が行っている確認作業を、ドローンやロボットが撮影した画像の分析に代替していく建設業界の AX (AI Transformation) を進めることで、安全性や生産性の向上につなげ、将来的には様々なインフラにおいて展開することを目指す。

プロジェクト名・提案者

口腔ケアから始める未病改善に向けた行動変容への挑戦

(株式会社 Genics、株式会社インテージヘルスケア)

プロジェクト概要



全自動の歯みがきロボットを開発・販売する株式会社 Genics と、医療・ヘルスケア領域での市場調査やデータ分析を行っている株式会社インテージヘルスケアが連携し、「歯みがき」を切口とした健康行動・未病改善を促進する実証を行う。この取組により、「歯みがき」という日常行動を起点にして個人の健康意識を高めたうえで、健康行動につながる介入を行う新たなモデルを構築し、将来的には企業に対して「歯みがきロボット」を活用した健康管理サービス提供することで、企業の健康経営・福利厚生として導入を進め、未病改善に向けた個人の行動変容を目指す。

プロジェクト名・提案者

横浜発、訪日ファミリーを安心して受け入れる全国標準基盤の構築

(Synk 株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社、横浜市米州事務所)

プロジェクト概要



訪日客が安心して
観光を楽しむこと
を後押し

訪日富裕層の家族をターゲットに保育と文化観光体験サービスを提供するSynk株式会社は、旅行中の訪日客から保育士が安心して子どもを預かることができる環境を整えるために、三井住友海上火災保険株式会社、MS&ADインターリスク総研株式会社と連携し、現場でのヒヤリハット事例などに基づく保育時のサービス管理規定を策定し、安全性の向上を図る。また、横浜市米州事務所と協力しながらGREEN×EXPO2027を契機に来日する家族向けのサービスを提供するなど、訪日客が安心して観光を楽しめる環境整備と観光消費額の向上を目指す。

プロジェクト名・提案者

駅を舞台にした、若手アーティストと企業のマッチングによるアート経済圏創出プロジェクト
(株式会社 TODOROKI、京王電鉄株式会社)

プロジェクト概要



若手アーティストの支援を行い、アートビジネスの知見を持つ株式会社 TODOROKI と、相模原市橋本駅を中心とするエリアの開発に取り組む京王電鉄株式会社が連携し、店舗等において地元アーティストの作品を活用したい企業と若手アーティストや地元の美大生等を結び付け、発注できるアートのマッチングシステムの実証を行う。この取組により、若手アーティストや美大生が作品を発表する場が少なく、企業とのマッチング機会も得られないという課題の解決につなげるとともに、アートの魅力を活用したまちのブランディングを行い、橋本を人々が降りたくなるエリアとすることを目指す。

プロジェクト名・提案者

3D×AI×IoT で実現する、建物の維持管理を支援する新たなモデル構築
(株式会社ビートバップ、株式会社フジタ)

プロジェクト概要



デジタルツインを用いて現実世界を3D空間に再現する技術を持つ株式会社ビートバップと、建物の建設から、改修・修繕・維持運用管理段階での支援を手掛けるゼネコンである株式会社フジタが連携し、3D・AI・IoT等の技術を掛け合わせることで、建物の維持管理の効率化につなげる実証を行う。この取組により、センサーによる異常の早期検知や、3D空間で建物・設備の状態を直感的に把握する仕組みや、AIエージェントによる判断のサポート等を実現することで、建物の維持管理を担当する職員が異常の発見、点検、判断、対応といった一連の行動を適切に行える仕組みを構築し、維持管理を担う人材の不足や高齢化が進む中、熟練者のノウハウへの依存が大きいという課題の解決に繋げ、建物の維持管理の新たな持続可能なモデル構築と普及を目指す。